

# 市民病院 の未来②



市民病院「1日ナース体験」の様子

島田市民病院（以下、市民病院）は、老朽化が進んでいるため、建て替えを計画しています。新しい市民病院は、どんな病院になるのか？ 移転先は？ 移転後の跡地利用は？  
今回は、新病院建設地検討委員会の状況や跡地利用の考え方などについて、お知らせします。

（問）政策推進課 ☎36・7191

広報しまだ12月号では、現病院敷地内の建て替えが難しいことをお伝えしました。  
そこで市では、新病院の移転先について検討しています。移転は、昨年6月に市民の皆さんにご意見を伺い策定した「まちなか集積医療基本構想」を基に、医療やまちづくりの専門家から意見を聞くため「新病院建設地検討委員会（以下、検討委員会）」を設置し、検討を進めています。  
検討委員会では、第1回目を昨年10月29日、第2回目を11月19日に開催しました。本年6月をめどに提言書を取りまとめ、市長に提出する予定です。

## 新病院建設Q&A

**Q** 検討委員会では、どんな人が検討しているの？

**A** 第三者的な立場で、次の5人の皆さんから「まちなか集積医療基本構想」を踏まえた中心市街地における新病院建設場所について、さまざまな意見をいただいています。

星和夫（ベトレームの園病院顧問）  
神原啓文（静岡県立総合病院長）  
豊田奈穂（総合研究開発構主任研究員）  
西田在賢（静岡県立大学教授）  
望月律子（静岡県看護協会会長）  
※敬称略

**Q** 検討委員会では、今どんなことが検討されているの？

**A** 検討委員会では、まちなか（島田駅北口から半径約500m程度の範囲）への移転に関して、新病院建設地としての条件などについて検討するとともに、新病院の役割や機能についても、議論されています。

**Q** 市民病院としての機能は、全て移転するの？

**A** 市民病院は、まちなかへの移転を予定していますが、現在地の一部について「長期療養型施設」の開設を、今後検討していく予定です。

**Q** 新病院の建設費は、いくらかかる予定なの？

円程度が推計されます。

**Q** 現在の島田市立看護専門学校はどうなるの？

**A** 誘致候補大学は、島田市立看護専門学校を発展的に継承しつつ、4年制の大学化を図る構想です。  
また、市民病院との緊密な連携のもと、専門化・高度化する医療現場を担う救急救命士や理学療法士などの、医療専門職者を育成し、地域医療の一層の充実を図ります。

**Q** 誘致候補大学とは、どんな交流をしているの？

**A** 誘致候補大学とは、具体的な誘致の話し合いのほか、多方面での交流事業を展開しています。  
「島田産業まつり」でのダンスチームの出演や「しまだ大井川マラソンinリバイ」での全国トップクラスのAEDチームの活躍は、記憶に新しいところです。

また、島田市の観光・産業PR活動を目的として、誘致候補大学における学園祭への出店を通し、大学との交流を進めています。

このように、市では地域医療の充実と地域の活性化を念頭に置き、大学の誘致に取り組んでいます。市民病院の移転は、大学誘致を実現させる上でも、必要となっています。

のため「市民の命を守る施設」としての体制・設備・機能を備えた新病院の建設が必要なのです。

## 病院跡地利用Q&A

**Q** 市民病院が移転した後の跡地利用は？

**A** 市民病院移転後の跡地利用については、さまざまな活用方法が考えられます  
現状は、地域医療の充実と地域の活性化を目的として、市民病院との連携やスポーツ環境を生かした大学の誘致を進めています。

**Q** 病院ではなく、大学を別な場所に誘致したらどうですか？

**A** 現病院の敷地は、典型的な軟弱地盤帯（沼地）にあり、液状化現象の恐れがあります。  
大規模な災害の際であっても休診することができない「災害拠点病院」の建設地として選定することは、不可能だと考えます。一方、大学においては、休校などの対応を取ることが可能です。

また、誘致候補大学には、医療系の学科が設置される予定で、市民病院の医療機器（CTなどの検査機器やリハビリ機器）などを実習などに利用していく構想であるため、現病院の敷地への大学誘致が必要となっています。

**Q** どのような大学の誘致を進めているの？

**A** 私立の総合大学で、医療機器の開発を目指す医工学部や、看護、アダプテッド・スポーツ（※）などの学部の誘致を進めています。  
※アダプテッド・スポーツとは  
ルールや用具を障害の種類や程度に合わせることで、障害者はもちろんのこと、幼児から高齢者、体力の低い人でも参加することができるスポーツのこと。

**Q** 移転後の、誘致候補大学と地域とのかわりは？

**A** 大学が誘致された場合、日常的に周辺地域の皆さんとの交流を進めながら、公園機能を備えたキャンパス（校庭）を開放したり、大規模な災害の際には、地域の避難場所として活用されたりすることが期待されます。

**Q** 大学を誘致することによる地域への効果は？

**A** 誘致候補大学は、約1000人から15000人の学生が在学する規模を想定しています。数多くの学生が島田市で学び、生活することによる「経済的波及効果」が期待されます。仮に、学生が1500人とする場合、1人あたり月額10万円の支出を行う場合、年間18億円、4年間で72億



学園祭での「島田市ブース」出展



島田産業まつりに参加したダンスチーム



大井川マラソンをサポートしたAEDチーム